

社会福祉法人 宝塚いくせい会

令和6年度 事業報告書

I 総 括

本法人は、障害者総合支援法に基づいた就労継続支援事業、短期入所事業、指定特定相談支援事業、宝塚市地域生活支援事業として日中一時支援事業を実施しています。また、公益事業として介護保険法による指定福祉用具の貸与、販売を就労活動として行い、数多くの利用者にサービスを提供することにより社会福祉に寄与しています。

令和6年度については、漫然と事業を続けることに危機感を持ち、社会福祉法人として法人理念に基づいた事業の継続性と、それを維持するための人材確保や仕組みづくりを行っていくことに重点を置き、事務局と現場の連携及び事業部門間の連携、職員のキャリアパスフレームの再構築と等級に応じた職務基準書の策定、短期入所事業の今後のあり方についての検討などを行いました。

II 経 営 成 績

事業活動計算書(法人全体)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減
事業活動収益	245,063,753 円	231,964,039 円	13,099,714 円
サービス活動収益	242,790,866 円	228,987,788 円	13,803,078 円
うち、就労支援事業収益	105,050,051 円	106,585,827 円	△ 1,535,776 円
うち、自立支援給付費収益	97,231,107 円	85,115,217 円	12,115,890 円
うち、宝塚市受託事業収益	31,310,736 円	29,037,349 円	2,273,387 円
サービス活動外収益	2,272,887 円	2,976,251 円	△ 703,364 円
特別利益	円	円	円
事業活動費用	251,496,736 円	241,986,005 円	9,510,731 円
サービス活動費用	250,251,677 円	240,538,335 円	9,713,342 円
うち、人件費	111,246,576 円	102,726,135 円	8,520,441 円
うち、事業費	10,065,598 円	9,957,280 円	108,318 円
うち、事務費	19,552,591 円	16,634,114 円	2,918,477 円
うち、就労支援事業費用	104,620,685 円	106,206,758 円	△ 1,586,073 円
うち、減価償却費	4,886,562 円	5,163,972 円	△ 277,410 円
サービス活動外費用	1,245,059 円	1,447,670 円	△ 202,611 円
特別損失	円	円	円
差 引	△ 6,432,983 円	△ 10,021,966 円	3,588,983 円

令和6年度の法人全体の経営成績は、643万円の赤字になりました。赤字ではありましたが、前年の1002万円の赤字から、359万円の回復をしています。

事業収益については1300万円増の2億4500万円（前年比105.7%）になり、主に就労継続支援事業の自立支援費給付（訓練等給付）の増収（1015万円増）が大きな要因になりました。初の通年運営となった相談支援事業の自立支援給付（計画相談支援給付）は464万円の収益となっています。市受託事業の日中一時支援（227万円増）は増収、短期入所事業（151万円減）と就労支援事業（153万円減）については、微減となっています。

事業活動費用については951万円増の2億5150万円（前年比103.9%）で、主には職員の増員を行った人件費（852万円増）の増加と社会保険労務士との顧問契約などを行った事務費（292万円増）が大きな要因となっています。

Ⅲ 障害福祉サービス事業等の実施

Ⅲ-1 就労継続支援A・B型事業（宝塚育成事業所）

就労継続支援A型利用者

年齢	
60～	2
50～59	7
40～49	1
30～39	3
20～29	-

療育手帳判定	
A	7
B1	5
B2	1

障害支援区分	
5	1
4	5
3	3
2	3
1	-
なし	1

就労継続支援B型利用者

年齢	
60～	4
50～59	4
40～49	4
30～39	2
20～29	2

療育手帳判定	
A	11
B1	3
B2	1
なし	1

障害支援区分	
5	2
4	4
3	7
2	1
1	-
なし	2

就労継続支援A型事業については、雇用契約に基づき、生産性を求めながら、宝塚育成事業所の牽引力を期待しています。

令和6年度は利用者11名の運営から始まり、5月に1名の新規利用者、10月に就労継続支援B型からの内部移行があり、13名で終了しています。60代以上の2名の利用者の高齢化の問題や、40～50代利用者の親の高齢化による介護の問題などが浮かび上がりつつあります。訓練等給付費(支援費)については、令和6年度報酬改定による単位数増などにより(809単位→876単位)、大幅な増収となっています。

就労継続支援B型については地域に根差した生産活動を行いながら、就労継続支援A型などからの高齢化に伴う移行や、他施設(生活介護施設、就労継続支援B型、入所施設)から若い年代を受け入れ、社会人、職業人としての自己意思決定などの支援を行っています。

個別性の高い利用者については関係機関との連携を行いながら適正な支援を行っています。

令和6年度については、定員15名に対して17名で運営を開始、10月に30代の就労継続支援B型利用者が就労継続支援A型に移行し、16名の利用になっています。高齢化の対応については、共生型との併用で週3日の利用が1名、自宅から週2日の利用が1名、他にも共生型の利用を検討している利用者が1名います。また昨年度3月から利用の始まった若年性アルツハイマーの利用者対応も継続して行っています。

訓練等給付費(支援費)については、就労継続支援A型と同様に令和6年度報酬改定による単位数増などにより(783単位→858単位) 大幅な増収となっています。

(1) 運営状況及び訓練給付費の状況

区分		令和6年度	令和5年度	増減
A 型	定員	12 人	12 人	人
	契約人数	13 人	11 人	2 人
	平均利用者数	11.5 人	10.8 人	0.8 人
	年間開設日数	240 日	240 日	日
	訓練給付費	29,636,680 円	23,787,307 円	5,849,373 円
B 型	定員	15 人	15 人	人
	契約人数	16 人	17 人	△1 人
	平均利用者数	14.9 人	14.8 人	0.1 人
	年間開設日数	240 日	240 日	日
	訓練給付費	34,655,893 円	30,355,670 円	4,300,223 円
訓練等給付費合計		64,292,573 円	54,142,977 円	10,149,596 円

(2) 就労支援事業の実施事業

① 生産活動業務

【就労継続支援A型】

- ・ 介護保険適用福祉用具貸与事業(契約件数 447件(3月現在))、福祉用具販売事業
- ・ 宝塚市公園維持管理業務、宝塚市立病院・宝塚市立すみれ墓苑植栽管理業務の受託 (A・B型間での作業分担明確化)
- ・ 福祉用具の消毒作業の受託 (A・B型間での作業分担明確化)

【就労継続支援B型】

- ・ 介護保険適用外福祉用具貸与事業(契約件数 489件(3月現在))、福祉用具販売事業
- ・ 宝塚市公園維持管理業務、宝塚市立病院・宝塚市立すみれ墓苑植栽管理業務の受託 (A・B型間での作業分担明確化)
- ・ 福祉用具の消毒作業の受託 (A・B型間での作業分担明確化)
- ・ 軽作業の受託
- ・ 就労継続支援A型事業からの福祉用具消毒作業の受託

② 就労支援事業収支の状況

区 分		令和6年度	令和5年度	増減
A 型	収 益	81,927,830 円	83,500,841 円	△ 1,573,011 円
	費 用	81,611,061 円	83,201,383 円	△ 1,590,322 円
	差 引	316,769 円	299,458 円	17,311 円
B 型	収 益	23,122,221 円	23,084,986 円	37,235 円
	費 用	23,009,624 円	23,005,375 円	4,249 円
	差 引	112,597 円	79,611 円	32,986 円
合 計	収 益	105,050,051 円	106,585,827 円	△ 1,535,776 円
	費 用	104,620,685 円	106,206,758 円	△ 1,586,073 円
	差 引	429,366 円	379,069 円	50,297 円

就労収益については、合計では約1億500万円と約157万円減の成績でした(前年比98.6%)。

就労継続支援A型では受託事業収入が屋外事業などを中心に50万円の増収でしたが、介護保険貸与・販売事業は顧客数の伸び悩みなどにより200万円の減収となっています。

就労継続支援B型では、介護保険適用外レンタル事業と受託事業で約50万円の増収となり、販売事業の減収分を補い、ほぼ現状維持の成績でした。

令和6年度の就労会計は就労継続支援A型で約32万円、就労継続支援B型で約11万円の黒字になり、就労継続支援A型・B型共に設備等整備積立金に積み立てることにしました。

③ 賃金及び工賃の状況

区 分		令和6年度	令和5年度	増減
A型	人 数	13 人	11 人	2 人
	最賃適用者	9 人	7 人	2 人
	賃金総額	16,914,875 円	14,267,481 円	2,647,394 円
	平均月額賃金	113,543 円	108,087 円	5,456 円
B型	人 数	16 人	17 人	△ 1 人
	工賃総額	7,729,443 円	7,206,408 円	523,035 円
	平均月額工賃	43,230 円	40,853 円	2,377 円

*令和5年度より・・・一日当たりの平均利用者数を算出し、一人当たりの平均工賃月額を算出。

就労継続支援A型は、平均賃金については最低賃金適用者の増加(7名→9名)や10月の最低賃金額の上昇(1001円→1052円)により増加し、平均月額賃金は11万円代を超えています。

就労継続支援B型の平均月額工賃については、高工賃利用者の就労継続支援A型への移行で、横ばいもしくは減少が予想されましたが、10月に行った成果給の金額改定などが効果を発揮して、4万3千円代に上昇しています。

参考) 令和5年度平均賃金・工賃について		全国平均	兵庫県平均	宝塚市平均
A型	108,087 円 (令和5年度実績)	86,752 円	89,142 円	86,880 円
B型	40,853 円	23,053 円	19,140 円	17,037 円

参考) 令和5年度平均賃金・工賃による順位		兵庫県	阪神北圏域	宝塚市
A型	108,087 円 (令和5年度実績)	28 / 165	2 / 18	2 / 7
B型	40,853 円	41 / 798	3 / 84	1 / 29

(3) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員		臨時職員		合計	
管理者	1	(兼務)			1	(兼務)
サービス管理責任者	1	(兼務)			1	(兼務)
生活支援員	5	【4.6】			5	
職業指導員	3	【3.0】	5	【3.0】	8	
目標工賃達成指導員 賃金向上指導員	2	【2.0】			2	
公益事業(介護保険貸与販売)	2	【2.0】			2	
事務員	1	【1.0】	1	【0.6】	2	
合 計	14	【12.6】	6	【3.6】	20	【16.2】

令和6年3月31日現在 【 】内は常勤換算人数

Ⅲ-2 単独型短期入所事業（安倉ホーム・来夢）

令和6年度は短期入所事業の今後のあり方について、検討を重ねた1年となりました。

職員の勤務体制における様々な課題や人材確保の厳しさが事業運営に大きな影響を及ぼしました。保護者会において事業の縮小についての説明を行い理解を求めました。

令和7年度からの事業の縮小（安倉ホーム1と2の統合）と勤務体制の変更（8時間勤務から16時間勤務へ）のための準備期間としました。

短期入所連絡会や運営会議等での意見交換を行い、今後の短期入所事業の方向性について、継続して検討いたします。

(1) 短期入所運営状況

【安倉ホーム1（男性対応）】

区分	令和6年度	令和5年度	増減	備考
定員	4 人	4 人	人	
年間開設日	220 日	226 日	△ 6 日	
年間利用者(実数)	15 人	17 人	△ 2 人	
年間延べ利用者	446 人	532 人	△ 86 人	
平均利用者数/日	2.0 人/日	2.4 人/日	-0.4 人/日	

【安倉ホーム2（男性対応）】

区分	令和6年度	令和5年度	増減	備考
定員	4 人	4 人	人	
年間開設日	141 日	137 日	4 日	
年間利用者(実数)	11 人	14 人	△ 3 人	
年間延べ利用者	245 人	305 人	△ 60 人	
平均利用者数/日	1.7 人/日	2.2 人/日	-0.5 人/日	

【来夢(女性対応)】

区分	令和6年度	令和5年度	増減	備考
定員	4 人	4 人	人	
年間開設日	220 日	220 日	日	
年間利用者(実数)	14 人	18 人	△ 4 人	
年間延べ利用者	394 人	448 人	△ 54 人	
平均利用者数/日	1.8 人/日	2.0 人/日	-0.2 人/日	

(2) 介護給付費の状況

区分	令和6年度	令和5年度	増減	備考
安倉ホーム	18,115,535 円	19,401,951 円	△ 1,286,416 円	
来夢	10,181,503 円	10,408,396 円	△ 226,893 円	
合計	28,297,038 円	29,810,347 円	△ 1,513,309 円	

(3) 職員配置状況

区分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	2(生活支援員と兼務)		2(生活支援員と兼務)
生活支援員	3		3
調理員 (安倉ホーム、来夢)		3	3
合計	3	3	6

令和6年3月31日現在

(4) 今後の短期入所事業について

一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会運営から受け継いだ単独型短期入所事業ですが、訓練ホームとしての位置づけの変化や、勤務時間の問題、職員体制の不足、人材育成の不備、利用者受入れの問題、一人勤務体制での属人化や閉塞性など、ここ数年、そのあり方について検討すべき点が現出していました。

令和5年度に「短期入所あり方検討会」を開催して、他団体の運営や意見を参考にしながら問題点を洗い出し、令和6年度には、その問題点について具体的に検討を行いました。

令和7年度には現場レベルでの調整を行い、継続か廃止かの最終的な判断を行います。

令和6年度までの問題点

- 勤務時間の問題。
16:30～22:00(5時間30分勤務) 22:00～6:00(8時間休憩) 6:00～8:30(2時間30分勤務)
月～金 週5勤務 夜勤手当 残業時間：約50時間～60時間/月
- 1事業所に1人が勤務。
- 勤務時間による職員への負担が大きい。
- 稼働率50%前後。
- 残業時間が固定化しており、収益と人件費のバランスの悪さが大きい。
- 1人職場による閉塞性、属人化が顕著にみられる。
- 事業の縦割り化によって、人材補充、人材育成の不備が目立つ。

検討・実施した点

- 夜間宿直体制の低減、解消（夜勤体制や変形労働制の導入、職員体制など）の検討。
- 労務管理、シフト作成相談の為に、社会保険労務士との契約。
- 賃金体系や事業運営の客観的な評価の為に、社会福祉法人経営コンサルタントとの契約。
- 慢性的な残業時間の低減（夜勤帯、朝夕の清掃など）の検討。
- 事業継続の為に最小限の運営体制の検討。
- ワンフロア運営での男女入れ替え制、事業規模の検討。
- 法人全体の財務分析を行い、部門間の人件費等の問題を客観的に確認。
- 職務基準書の作成、キャリアパスフレームの作成により、責任と権限の明確化を行う。
- 形式化、形骸化していた短期入所連絡会を、各事業の5級主任が参加する形に変更。

令和7年度からの運営について

暫定運用 令和7年4月～

- 事業所の縮小 安倉ホーム1と安倉ホーム2を一つに統合、来夢と併せて2事業所体制に変更。
- 勤務体制の暫定的な変更
16:00～9:00(16時間勤務) 1時間休憩 仮眠有)
変形労働制 10日勤務/月 夜勤手当 深夜勤務手当(22時～5時) 残業時間：約10時間

最終決定 令和7年度下半期中に判断

- 事業の縮小による継続 来夢で男女入替による一カ所運営を行う。
他事業の職員との横断的な勤務体制を作っていく(変形労働制、シフト勤務)。
- 事業の休止・廃止
検討中の新規事業や現行事業の拡充に経営資源を充てていく。

運営会議・短期入所連絡会(部門長・短期入所職員に加え、各事業の5級主任が参加)及び社会保険労務士との打ち合わせで決定していきます。

Ⅲ-3 日中一時支援事業（つばさ）

令和6年度は女性の正規職員の欠員状態が続き、男性正規職員2名と男女6名のアルバイト職員での事業運営となっています。

厳しい業務体制ではありましたが、今年度は児童の利用者の数が前年度よりも増え、収益も前年を上回る結果になり、事業の充実に向けての取り組みを続けることができました。

勤務体制に不安要素も残しながらも、今後の日中一時支援事業のあり方について、引き続き検討を行っていきます。

(1) 日中一時支援運営状況

区分	令和6年度	令和5年度	増減	備考
定員	15 人	15 人	人	
年間開設日	237 日	236 日	1 日	
年間利用者(実数)	810 人	766 人	44 人	
学齢児童	438 人	390 人	48 人	
成人(18歳以上)	372 人	376 人	△4 人	
年間延べ利用者	3,490 人	3,131 人	359 人	
学齢児童	1,851 人	1,497 人	354 人	
成人(18歳以上)	1,639 人	1,634 人	5 人	
年間延べ利用時間	15,439 時間	14,009 時間	1,430 時間	
学齢児童	8,042 時間	6,852 時間	1,190 時間	
成人(18歳以上)	7,397 時間	7,157 時間	240 時間	
平均利用者数/日	14.7 人	13.2 人	1.5 人	

※ここでいう成人とは18歳以上をいい、通常、自己負担金が0円となる利用者です

(2) 受託事業収益の状況

区分	令和6年度	令和5年度	増減	備考
宝塚市受託事業収益	31,310,736 円	29,037,349 円	2,273,387 円	
利用者負担金収益	2,692,365 円	2,575,805 円	116,560 円	
合計	34,003,101 円	31,613,154 円	2,389,947 円	

(3) 職員配置状況

区分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	1(他事業と兼務)		1
生活支援員	2	6	8
合計	3	6	9

令和6年3月31日現在

Ⅲ-4 指定特定相談支援事業（相談支援事業所 いくせい）

障害福祉サービスの利用申請に当たり、サービス等利用計画についての相談などの支援を行うとともに、サービス事業者等の関係機関との連絡調整などの支援を行います。

令和6年6月に補助職員を1名増員し、令和6年9月に指定障害児相談支援の指定申請を行い、11月より障害児対応を開始しています。全体のバランスを図りながら緩やかに利用者を増加させました。

今後、法人としてチーム支援の重要性を発信する位置づけとして、他事業部門との連携を模索してまいります。

(1) 相談支援事業 運営状況

区分	令和6年度				令和5年度(10~3月)				備考
	人数		障害種別		人数		障害種別		
利用者数	男性	43人	知的	43人	男性	27人	知的	33人	
	女性	24人	精神	20人	女性	10人	精神	4人	
			児童	4人			児童	人	
計		67人		67人		37人		37人	

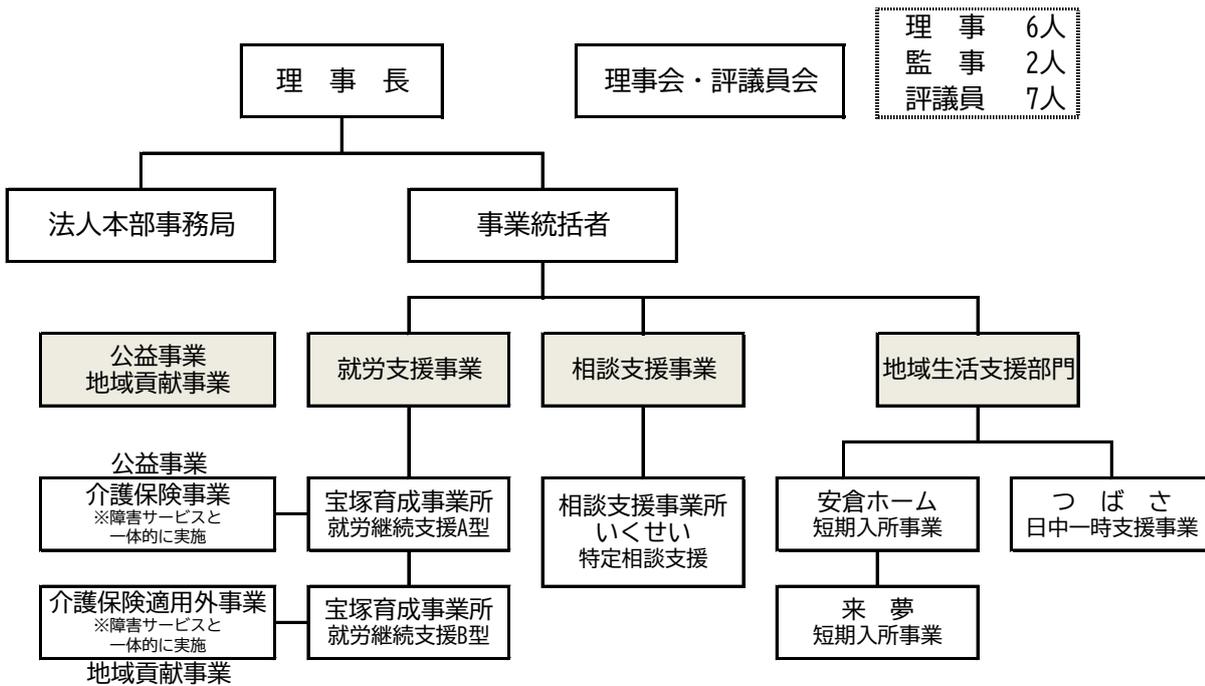
(2) 介護給付費の状況

区分	令和6年度	令和5年度(10月~3月)	増減	備考
相談支援事業所 いくせい	4,641,496 円	1,161,893 円	3,479,603 円	

区分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
相談支援専門員	1		1
補助職員		1	1
合計	1	1	2

IV 法人の状況及び運営等

IV-1 法人の組織



IV-2 職員の状況

区分	令和6年3月31日	雇用(4月1日を含む)	退職(3月31日を含む)	令和7年4月1日
正規職員	16 人	1 人	1 人	16 人
男性	7 人	1 人	人	8 人
女性	9 人	人	1 人	8 人
嘱託職員	6 人	2 人	2 人	6 人
男性	3 人	1 人	2 人	2 人
女性	3 人	1 人	人	4 人
臨時職員	17 人	3 人	人	20 人
男性	6 人	1 人	人	7 人
女性	11 人	2 人	人	13 人
合計	39 人	6 人	3 人	42 人
男性	16 人	3 人	2 人	17 人
女性	23 人	3 人	1 人	25 人

区分	30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上	計
正規職員	2	2	2	10			16 人
男性		1	2	5			8 人
女性	2	1		5			8 人
嘱託職員			2		2	2	6 人
男性					1	1	2 人
女性			2		1	1	4 人
臨時職員	2	4	1	3	2	8	20 人
男性		3	1	1		2	7 人
女性	2	1		2	2	6	13 人
合計	4	6	5	13	4	10	42 人
男性		4	3	6	1	3	17 人
女性	4	2	2	7	3	7	25 人

令和7年4月1日現在

IV-3 役員等の選任状況

①役員(理事及び監事)

選任日	令和6(2023)年6月30日 定時評議員会	
任期	(自) 令和5(2023)年6月30日開催の定時評議員会の終結の時 (至) 令和7(2025)年6月開催予定の定時評議員会の終結の時	
1 理事	あさやま 浅山 みゆき	一般社団法人 宝塚市手をつなぐ育成会前会長
2 理事	うすと たかこ 樋戸 貴子	神戸女子大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授
3 理事	おはら まさよし 小原 正義	社会福祉法人 宝塚いくせい会 地域生活支援部門長
4 理事	こはら れいこ 小原 冷子	社会福祉法人 阪神福祉事業団 評議員
5 理事	たつみ まさのり 龍見 正範	宝塚市民生委員・児童委員連合会 常任理事
6 理事	まつした ゆうすけ 松下 祐介	社会福祉法人 宝塚いくせい会 法人事業統括
1 監事	たかはし ちあき 高橋 千明	高橋会計事務所 税理士
2 監事	やまもと しんや 山本 信也	社会福祉法人 宝塚市社会福祉協議会 地域支援部長

(敬称略、五十音別)

②評議員

選任日	令和6(2024)年6月7日 評議員選任・解任委員会	
任期	(自) 令和6(2024)年6月25日開催の定時評議員会の終結の時 (至) 令和10(2028)年6月開催予定の定時評議員会の終結の時	
1 評議員	いまきた さゆり 今北 さゆり	一般社団法人 宝塚市手をつなぐ育成会会長
2 評議員	くぼ 萌子 久保 萌子	有限会社クルーズ 代表取締役
3 評議員	つじい 善弘 辻井 善弘	社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 常務理事
4 評議員	とくこう みさこ 徳好 美三子	宝塚市民生委員・児童委員連合会
5 評議員	べにやま おさむ 紅山 修	神戸親和大学 教育学部 児童教育学科 教授
6 評議員	やまだ せいいち 山田 精一	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 執行役員
7 評議員	よねだ なおと 米田 直人	一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社 事務局長

(敬称略、五十音別)

IV-4 理事会及び評議員会の開催状況

会議の名称		第1回理事会
開催日時	令和6年5月31日(金) 13:30~	
開催場所	宝塚市総合福祉センター	
出席者数	理事6名中6名出席 監事2名出席	
議 題	第1号議案 令和5年度事業報告の承認について 第2号議案 令和5年度決算に係る計算書類等の承認について 第3号議案 評議員候補者の推薦について 第4号議案 評議員選任・解任委員会の委員の解任について 第5号議案 評議員選任・解任委員会の委員の選任について(補欠) 第6号議案 評議員選任・解任委員会の開催について 第7号議案 評議員会の招集について 第8号議案 評議員選任・解任委員会の委員の選任について	
会議の名称		評議員選任・解任委員会
開催日時	令和6年6月7日(金) 10:30~	
開催場所	宝塚育成事業所	
出席者数	小原理事長 評議員選任・解任委員3名出席	
議 題	第1号議案 委員長の選出について 第2号議案 評議員の選任について	
会議の名称		定時評議員会
開催日時	令和6年6月25日(火) 13:30~	
開催場所	宝塚市総合福祉センター	
出席者数	評議員7名中6名出席 (辻井評議員欠席) 監事1名出席 (高橋監事欠席)	
議 題	第1号報告 令和5年度事業報告について 第1号議案 令和5年度決算に係る計算書類等の承認について	
会議の名称		第2回理事会
開催日時	令和6年8月29日(木) 14:00~	
開催場所	宝塚市宝塚市総合福祉センター	
出席者数	理事6名中5名出席(浅山理事欠席) 監事2名出席	
議 題	第1号報告 令和6年度第1四半期業務執行状況について	
会議の名称		第3回理事会
開催日時	令和6年12月2日(月) 14:00~	
開催場所	宝塚市宝塚市総合福祉センター	
出席者数	理事6名中5名出席(植戸理事欠席) 監事2名出席	
議 題	第1号報告 令和6年度第2四半期業務執行状況について 第1号議案 職員就業規則の改正について 第2号議案 昇格・昇進基準書の制定について 第3号議案 正規職員給与規程の改正について	
会議の名称		第4回理事会
開催日時	令和7年3月28日(金) 14:00~	
開催場所	宝塚市宝塚市総合福祉センター	
出席者数	理事6名中6名出席 監事2名出席	
議 題	第1号報告 令和6年度第3四半期業務執行状況について 第1号議案 令和6年度資金収支補正予算(第1号)について 第2号議案 令和7年度事業計画について 第3号議案 令和7年度資金収支予算について 第4号議案 職員給与規程の一部改正について 第5号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 第6号議案 嘱託職員等の就業規則の一部改正について 第7号議案 就労継続支援宝塚育成事業所 運営規程の一部改正について 第8号議案 単独型短期入所安倉ホーム 運営規程の一部改正について 第9号議案 単独型短期入所来夢 運営規程の一部改正について 第10号議案 指定特定相談支援事業 運営規程の一部改正について	

IV-5 内部会議・委員会・研修 外部研修 参加状況

本年度から月に1回、主任会議を開催しています。業務改善委員会に参加している主任が中心になり、内容に応じて他職員の参加要請も行いながら、ケース検討や課題解決を行っていくものです。

法人全体研修については、業務改善委員会参加の現場職員が企画運営を行い、8月と2月の2回開催いたしました。

外部研修については、就労継続支援、日中一時、相談支援から、様々な形式の研修に参加しました。

①主な内部会議・委員会・研修 参加状況

会議の名称	社会福祉法人 宝塚いくせい会 運営会議
開催日時	隔週開催(月2回)
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	小原理事長 松下事業統括 小原部門長 清水事務長
会議の名称	宝塚いくせい会 業務改善委員会
開催日時	月1回開催
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	小原理事長 松下事業統括 小原部門長 清水事務長 就労継続支援事業主任 日中一時支援事業主任 短期入所事業主任
会議の名称	宝塚いくせい会 主任会議
開催日時	月1回開催
開催場所	宝塚育成事業所 安倉ホーム つばさ 等
出席者	就労継続支援事業主任 日中一時支援事業主任 短期入所事業主任 他関連職員
会議の名称	社会福祉法人宝塚いくせい会 法人全体研修
開催日時	令和6年7月15日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	宝塚いくせい会 生活支援・職業指導・相談支援職員 32名
議題	法人の組織・現状について GW：あなたにとって働きやすい職場とは そのためにあなたが出来る事は？ GW：自分が利用者の立場なら利用したい施設、利用したくない施設について
研修の名称	社会福祉法人 宝塚いくせい会 法人全体研修
開催日時	令和7年2月11日
開催場所	宝塚市西公民館 セミナー室
出席者	宝塚いくせい会 法人職員35名
議題	GW：最近の仕事で印象的な出来事から様々な視点での解決策や展開を話し合う 松下事業総括 社会福祉法人宝塚いくせい会の現状と未来について
会議の名称	社会福祉法人 宝塚いくせい会 虐待防止委員会
開催日時	令和7年3月5日
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	委員長(事業統括) 副委員長(事業所長) 委員(就労継続支援・福祉用具貸与・日中一時支援・短期入所)
議題	会議の目的と資料の確認・共有 各部門課題の報告と改善策について
研修の名称	宝塚育成事業所 全体ミーティング (内部研修)
開催日時	隔月実施 (全5回)
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	宝塚育成事業所職員 16名
議題	利用者ケース共有 (毎回) 小林茂夫氏を招いての講演 (5月) 職員ノートから (7月 1月) 最年長職員の講義～障がい者(障がい者問題) との関わりを振り返りました。(7月) 9月10日研修について職員報告 (10月) 虐待防止委員会開催に向けて～事業所内で虐待の芽、ありませんか？ (1月) 宝塚育成事業所令和6年度振り返り 令和7年度について (3月)

②主な外部研修 参加状況

会議の名称	第30回バリアフリー展
開催日時	令和6年4月17日～19日
開催場所	インテックス大阪
出席者	宝塚育成事業所 職員5名 宝塚育成事業所 利用者1名
会議の名称	宝塚さざんか福祉会 法人職員研修
開催日時	令和6年6月15日 8月17日 10月19日 11月16日 令和7年1月11日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	松下事業統括 宝塚育成事業所 職員1名 つばさ 職員1名
会議の名称	宝塚市社会福祉法人連絡協議会 総会
開催日時	令和6年6月17日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所 職員3名
会議の名称	宝塚市介護保険事業者協会 総会
開催日時	令和6年6月26日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所 職員1名
会議の名称	社会福祉法人福成会 権利擁護研修
開催日時	令和6年8月6日
開催場所	杭瀬福成園
出席者	松下事業統括 宝塚育成事業所 職員1名
会議の名称	兵庫県知的障害施設協会 研修
開催日時	令和6年9月11日
開催場所	複合型交流拠点ウィズあかし
出席者	宝塚育成事業所 職員1名 つばさ 職員1名
会議の名称	依存症対策総合支援事業 地域の支援者の為の研修会
開催日時	令和6年9月20日
開催場所	宝塚市立西公民館
出席者	相談支援事業所いくせい 職員2名
会議の名称	宝塚市手をつなぐ育成会 研修
開催日時	令和6年11月14日
開催場所	宝塚市中央公民館 大ホール
出席者	相談支援事業所いくせい 職員1名
会議の名称	精神保健福祉士 初級研修
開催日時	令和6年10月22日 11月15日 12月13日
開催場所	兵庫県立のじぎく会館
出席者	相談支援事業所いくせい 職員1名
会議の名称	就労支援フォーラムNIPPON 2024
開催日時	令和6年12月13日 14日
開催場所	東京ビッグサイト
出席者	松下事業統括 宝塚育成事業所 職員1名
会議の名称	地域福祉研修
開催日時	令和6年11月19日 11月27日
開催場所	宝塚市中央公民館
出席者	松下事業統括 宝塚育成事業所 職員2名
研修の名称	阪神圏域相談支援フォローアップ研修
開催日時	令和7年1月24日
開催場所	ZOOM
出席者	相談支援事業所いくせい 職員1名

研修の名称	特定相談連絡会 研修
開催日時	令和7年1月28日
開催場所	宝塚市役所 会議室
出席者	相談支援事業所いくせい 職員1名
研修の名称	高齢障害研修
開催日時	令和7年2月7日
開催場所	宝塚市中央公民館
出席者	相談支援事業所いくせい 職員1名
研修の名称	うつ・アルコール自殺研修
開催日時	令和7年3月7日
開催場所	宝塚市中央公民館
出席者	相談支援事業所いくせい 職員1名
研修の名称	令和6年度サービス管理責任者 実践研修
開催日時	令和7年2月18日・19日
開催場所	ZOOM
出席者	宝塚育成事業所 職員1名
研修の名称	令和6年度サービス管理責任者 更新研修
開催日時	令和7年2月26日・27日
開催場所	加古川市総合福祉会館
出席者	松下事業統括
研修の名称	令和6年度強度行動障害スーパーバイザー養成事業実践報告会
開催日時	令和7年3月4日
開催場所	ZOOM
出席者	宝塚育成事業所 職員1名
研修の名称	行動援護従業者養成研修
開催日時	令和7年3月13日・20日・27日
開催場所	土屋ケアカレッジ尼崎教室
出席者	つばさ 職員1名

IV-6 協議会・発表・企画運営 参加状況

社会福祉法人として地域との連携は不可欠なものとして、自立支援協議会、社会福祉法人連絡協議会、介護保険事業者協会など、様々な形の協議体に参加を行い、研修や展示会などの企画運営も積極的に行う様にしています。

特別支援学校高等部の講師や、第4地区民児協との見学会や講演などを通じて、学校や地域などへの発信を行いました。

また、地域貢献事業として実施している介護保険適用外事業に加えて、安倉地区の小中学生を対象とした長期休暇（冬休み・春休み）中の昼食提供事業、「おそとでごはん」を2回実施いたしました。

①主な協議会等 参加状況

協議会の名称	宝塚市自立支援協議会 しごと部会
開催日時	隔月実施（奇数月）
開催場所	宝塚市役所・宝塚市中央公民館など
出席者	宝塚育成事業所 所長（副部会長）
協議会の名称	宝塚市社会福祉法人連絡協議会
開催日時	毎月実施
開催場所	宝塚市宝塚市総合福祉センター 他
出席者	宝塚育成事業所 職員（地域貢献部会）
協議会の名称	宝塚市介護保険事業者協会
開催日時	隔月実施
開催場所	ZOOM開催
出席者	宝塚育成事業所 職員
会議の名称	特定相談連絡会
開催日時	毎月実施
開催場所	宝塚市役所 基幹相談支援センター
出席者	相談支援事業所 いくせい 職員2名
協議会の名称	宝塚市共同受注窓口連絡会（グッドジョブ）
開催日時	毎月実施
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	宝塚育成事業所 所長（理事）

②主な発表・講演など 参加状況

講義の名称	宝塚さざんか福祉会 法人職員研修(講師)
開催日時	令和6年6月15日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	松下事業統括(講師)
議 題	援助観の基礎視点～仕事の魅力 1年目～4年目までの職員に対して業務における必要な基礎視点について
講義の名称	県立こやの里特別支援学校高等部 特別授業(講師)
開催日時	令和6年7月11日(講義) 9月12日・19日 令和7年1月30日・2月6日(体験授業)
開催場所	県立こやの里特別支援学校
出席者	松下事業統括(講師) 宝塚育成事業所 職員2名 利用者6名(体験授業講師) 県立こやの里特別支援学校 教員5名 生徒32名(講義) 生徒10名(体験授業)
議 題	講義～「しごと」と「はたらく」 体験授業 ～支援学校備品の車いすを消毒しよう！

講義の名称	第4地区 民生・児童委員協議会研修(講師)
開催日時	令和6年9月18日
開催場所	宝塚育成事業所(見学) 宝塚市宝塚市総合福祉センター(講演)
出席者	松下事業所長(講師) 第4地区民生児童委員(32名)
議 題	宝塚育成事業所見学 地域で暮らすということ (福祉用具貸与事業の紹介と併せて)

講義の名称	尼崎福成会 研修委員会(講師)
開催日時	令和6年11月28日
開催場所	サポートセンターまつば
出席者	松下事業統括(講師) 宝塚育成事業所職員2名 福成会部長1名、所長1名、主任8人
議 題	職員育成のための交換ノートの活用について

講義の名称	令和6年度兵庫県サービス管理責任者更新研修(ファシリテーター)
開催日時	令和7年2月22日
開催場所	加古川市立総合福祉会館
出席者	松下事業統括
議 題	サービス管理責任者更新研修グループワーク時のファシリテーター等

③主な企画運営 参加状況

企画の名称	宝塚育成事業所と外部機関合同・連携支援会議
開催日時	令和6年5月28日
開催場所	宝塚市立中央公民館
出席者	宝塚育成事業所職員 16名 他機関職員16名
議 題	小林茂夫氏を招いての講演 支援者の中にある「見えない差別意識」を無くす 「相手から学ぶ」ことの徹底について

企画の名称	宝塚市障害福祉サービス合同事業者説明会 企画運営(宝塚市自立支援協議会)
開催日時	令和6年7月27日
開催場所	アピアホール
出席者	宝塚育成事業所 職員2名
議 題	合同事業者説明会 企画・当日運営など

企画の名称	宝塚市にじいろ福祉フェア 企画運営(宝塚市法人連絡協議会)
開催日時	令和6年10月27日
開催場所	宝塚市中央公民館
出席者	宝塚育成事業所 職員2名
議 題	地域貢献部会 ブース出展など

企画の名称	「おそとでごはん」(地域貢献事業)
開催日時	令和6年12月26日 令和7年3月27日
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	宝塚育成事業所職員及びボランティア
議 題	安倉小学校区の小中学生を対象 長期休暇(冬休み・春休み中)の昼食提供としてカレーライス・お菓子の提供を行う

企画の名称	宝塚市福祉用具展示会 企画運営(宝塚市介護保険事業者協会)
開催日時	令和7年2月14日
開催場所	宝塚市宝塚市総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所 職員
議 題	福祉用具展示会 企画・当日運営など

IV-6 中長期計画の取り組み

第5期中長期計画の1年目に当たる令和6年度は、法人本部機能の連携強化やキャリアパスフレームや業務基準書、給与規程の改定など、法人内の枠組みの再構築を重点的に行った年度になりました。

重点的取り組み項目の着手率は74.1%（20/27）で、ハラスメント対応に関しては未着手でした。

その他の項目では、法人内部部門間での横断的な情報共有や、地域での他法人や団体、自治体との連携などを意識した取り組みを行っています。一方で苦情対応や事業継続計画（BCP）の見直しなどにはまだ未着手な部分が目立っています。

重点的取り組み項目の進捗状況 令和6年度

中項目	課題	具体的取り組み	状況
組織体制	内部管理体制	法人本部機能の機能強化など 4/4	令和6年5月に法人事務職員の交代を行い、令和6年8月に事務長に任命、運営会議及び業務改善委員会、税理士など外部機関との打ち合わせに参加。 令和6年度に社会保険労務士と契約。短期入所事業をはじめとした法人労務管理の相談を行う。
	次期幹部職員の育成	次期幹部職員の検討5期・6期での登用に向けて検討を行う。 1/2	キャリアパスフレームの構築を行い、上級主任職(5級主任)を設定。 上級主任には部門長の補佐的な役割を行い、現場での問題解決の中心となる。令和7年度より事業運営会議及び理事会に出席予定。
人事	人事給与面の検討	適切な人事考課制度 役職・キャリアパスにより活性化を図る。 2/3	令和6年度にキャリアパスフレームと給与規程を改定、令和7年度に人事考課制度の検討を行い、人財を育成する環境を作っていく。
	人材確保	広報の強化 養成校連携 中途採用の情報取得 3/3	正規・嘱託の採用・退職状況 令和4年度 採用4(新卒1)名 (日中一時2名 就労継続2名) 退職2名 (短期入所1名 日中一時1名) 令和5年度 採用3(新卒1)名 (特定相談1名 就労継続2名) 退職2名 (短期入所1名 日中一時1名) 令和6年度 採用3名 (法人本部1名 就労継続2名) 退職1名 (法人本部1名) 養成校の実習受入は今年度も実施(1大学、計1回)。
安定した事業経営	宝塚市建物無償譲渡	スケジュールの確認 宝塚市との折衝 現行建物の評価 2/2	令和5年度より宝塚市と打ち合わせを継続して行う。簡易な建物の評価を行い外壁及び屋根の補修、リフォームなどについて検討を行う。令和9年度末の移行期限に向けて令和8年度を目途に結論を出す。
障害サービス	短期入所事業	事業再編について 事業のあり方の見直し 2/2	令和5年度より、各関連機関などの協力を仰いで、「短期入所事業のあり方検討委員会」実施。令和6年7月に中間報告をまとめる。 短期入所連絡会に、他部門上級主任を参加させる形で課題の抽出や実務的な取り決めの検討を行い、令和7年度中に方向性を確定させる。
相談支援事業	相談支援事業について	相談員の増員 業務改善委員会などへの参加 2/3	令和6年度職員1名を増員を行い(補助支援員)、2名体制に。令和7年度に相談支援専門員資格取得予定。 令和6年度、障害児相談支援開始。

中項目	課題	具体的取り組み	状況
事業分析	部門間の情報交換	部門間での共通課題の解決 現場レベルでの情報交換 1/1	令和6年度より、主任会議を実施、現場レベルの課題解決や部門間見学会を実施。今後は部門間でのケース検討を実施予定。 形骸化していた短期入所連絡会を部門長・短期入所職員に加え、他部門の上級主任も加え実施。今後の短期入所事業の実務的検討を行う場にする。
	新規事業の検討	自立訓練、もしくは評価機能のある就労移行支援、就労継続支援B型の立ち上げ 高齢化に対応できる共生型デイの立ち上げ 1/2	さざんか福祉会の生活介護施設との連携・共働を行いながらキャリアアップのできる就労継続支援B型を具体的に検討していく。 高齢化対応の共生型デイについては具体的検討はできなかった。
権利擁護	ハラスメント対応強化	運営会議、業務改善委員会での具体的検討 0/3	令和3年10月に日中一時支援事業で起きたパワーハラスメント事案に対して、規程に基づいた処分や報告は行ったが、その後の検証や防止策検討が不十分。令和7年度には具体的に会議のなかで検証・検討を行う。
理念の理解	研修・サービス管理の充実	職員面談の実施 研修計画の作成 2/2	業務改善委員会にて、法人全体研修の実施を行う。組織的な研修計画の作成は行っていない。

それ以外の項目の進捗状況（抜粋）令和6年度

中項目	課題	具体的取り組み	状況
安定した事業経営	安定した経営	現状の稼働率の分析	稼働率に関する意識は部門間でばらつきがある状況。 業務改善委員会や主任会議などで確認や分析が行えるようにしていく。
	災害時、感染症発生時にも継続できる経営	事業継続計画(BCP)の検討検証	令和6年度に義務化された事業継続計画の策定を行ったが、検証や検討はまだ行っていない。
障害サービス事業	就労継続支援事業	現事業の定員増 新しい就労継続支援事業の検討 多様な利用者の受入れ	生活介護→就労継続支援B型→就労継続支援A型の利用者が出る。 令和7年度に就労継続支援B型の定員増(15名→18名)を検討。 高次脳機能障害、若年性アルツハイマーの実習、利用の受入れを行う。
	日中一時支援事業	職員の補充 関連機関との連携 利用者アセスメントの実施	正規・臨時職員を交えたケース会議を令和7年度より実施。 令和6年度は関連機関との連携会議の実施を積極的に行った。
介護サービス事業	福祉用具貸与事業	福祉用具専門相談員の増員 介護保険事業者協会の参加	専門相談員の世代バランス解消の為、令和6年度に40代職員を一名雇用した。 介護保険事業者協会に参加、福祉用具展示会の参画、実施を行った。
事業分析	部門間の情報交換	運営会議の実施	令和3年6月より月2回の定期的な実施を行う。
		業務改善委員会の実施	令和4年7月より令和6年6月まで月2回 令和6年7月より月1回の定期的な実施を行う。
		主任会議の実施	令和6年7月より月1回の定期的な実施を行う。

中項目	課題	具体的取り組み	状況
権利擁護システムの確立	虐待防止への取り組み	法人全体研修の実施意識の向上を図る	法人全体研修を年間2回実施している。3月に虐待防止委員会を実施している。
	苦情解決の為に機能強化	苦情に対する現場レベルでの標準化、マニュアルの改訂など	具体的な検討は行っていない。今後、業務改善委員会、主任会議などで検討を行っていく。
支援力の向上	研修・サービス管理の充実	各部門の中核職員の研修参加	キャリアパスフレーム、業務基準書の策定を行い、級数に応じた研修の参加を図っていく。サービス管理責任者研修、県知協研修の参加を積極的に行っていく。
		支援標準マニュアルから個別支援計画の作成ができるシステムの検討	各事業部門での共有ファイルの構築はできたが、利用者情報などの共有や支援計画の共有につながるシステムの検討はできていない。
地域貢献事業	地域貢献事業の発信	保険適用外事業の発信	民児協や各地域包括支援センターなどで発信を行った。
		新しい地域貢献事業の研究	安倉地区在住の小中学生を対象とした、長期休暇中の昼食提供事業「おそとでごはん」を2回実施。令和7年度も継続して実施する。
地域啓発・連携	地域連携	自治会・まち協との連携	地域貢献事業や防災面などで情報交換を行った。
		民生児童委員との連携	見学会と講演を実施した。
		ほっとかへんネットとの連携	地域貢献部会に参加、研修やイベントに参画した。
専門職連携	専門職連携	自立支援協議会	しごと部会を中心に参加。
		障がい高齢の連携支援会議	令和6年5月の開催後、一旦休止。今後、他協議体との連携などを模索していく。
		他連携会議などへの参画	特定相談支援事業を中心とした連携会議等の参加や主催などを検討していく。
法人間連携	法人間の連携	宝塚市手をつなぐ育成会	定期的な情報交換を行う。
		宝塚さざんか福祉会	定期的な情報交換を行う。
		宝塚市社会福祉協議会	運営のアドバイスなどで連携を深めていく。
		その他の団体	県知的障害者施設協会・法人連絡協議会・共同受注窓口など

IV-7 その他の取り組み

時期	項目
4月	宝塚育成事業所 ハッピーデー（木下大サーカス鑑賞）
5月	宝塚育成事業所・安倉ホーム・来夢 害虫駆除
6月	法人職員・宝塚育成事業所利用者 健康診断
6月	宝塚育成事業所 ハッピーデー（神戸海洋博物館）
6月	宝塚育成事業所 伊丹西中学校トライやるウィーク受入
7月	宝塚育成事業所 消防設備点検
8月	宝塚育成事業所 県立こやの里特別支援学校職員見学11名
9月	宝塚育成事業所・安倉ホーム・来夢 害虫駆除
9月	宝塚育成事業所 一泊旅行（伊勢志摩方面）
10月	宝塚育成事業所 避難訓練
11月	宝塚育成事業所 市内スポーツイベント参加
11月	宝塚育成事業所 利用者インフルエンザ予防接種
11月	宝塚育成事業所 ハッピーデー（バーベキュー）
11月	宝塚育成事業所・つばさ・安倉ホーム・来夢 部門間職員見学会
12月	宝塚育成事業所 忘年会（こむの事業所にて開催）
2月	宝塚育成事業所 ハッピーデー（ボウリング）
3月	宝塚育成事業所 園田学園女子大学保育実習Ⅰ受入
3月	宝塚育成事業所 避難訓練